MYSTERYDOKUSHOANNAIMYSTERYDOKUSHOANNAIMYS

ミステリ読書案内

２０２４．３．３　発行元
第 556 号　伊藤　剛
https://mystery-dokuan.com

MYSTERYDOKUSHOANNAIMYSTERYDOKUSHOANNAIMYS

最近出た本の中から

最近になって出版された本の中から４冊を紹介する。１２月までは順調に本が出版されていたように思う。逆に言うと、年が開けてからの数週間は新刊にめぼしいものが出ていないというのが実感だ。

能登半島地震について思う

（第５５４号の続き）日本列島は４つのプレートがぶつかり合う特殊な位置にあり、活断層は至る所に存在する。発見されていないものもたくさんあるはずであり、列島直下のものは周期が 3000 年～4000 年以上と長い。日本に棲んでいる限り、地震災害から逃れることはできない。次にいつどこで起こるかの予測も難しい。備えと心構えはいつでも必要である。

今一番心配されているのは南海トラフによる東海・東南海、南海地震の連動であり、もう一つは首都直下地震である。２９年前の阪神淡路大震災あたりから日本列島は「地震の活動期」に入っているわけで、ここ数十年は特に警戒が求められる。

東日本大震災の直後に感じたさまざまな思いを振り返って、やはり次の世代に伝えていくことの重要性を再認識する。「今できることは何か？」　日常生活に直結したもので自分のできることを考えていくことが大切。避難所の映像を見ていてもそう思う。

友井羊『100年のレシピ』

１０月に双葉社から出た本。『小説推理』に連載された５編の短編を集めた連作集。第一話が２０２０年の話で、後に進むにしたがって時代を遡るという形式になってレシピの由来を辿る展開が工夫されている。料理の話の中に日常の謎を組み入れ、謎解きを含めてストーリーが進むのが上手。

第一話は『２０２０年のポテトサラダ』。料理の苦手な大学生の理央は料理学校に通うことに。紆余曲折があって理央は料理学校の創設者・大河弘子と直接話す機会が得られた。話の流れで両親、そして祖父母から伝わる「千切りジャガイモのサラダ」が登場してくる。これは最終話の内容にも結び付いていて、よく考えられた構成。

吉川英梨『警視庁01教場』

１１月に角川文庫から出た本。帯には「新シリーズ」と書かれているけれども『５３教場シリーズ』の延長線上のもの。五味警部も高杉警部補も脇役の形で重要な役割りを果たしている。本書から主役になるのは甘粕仁子警部補。警視庁の見当たり捜査班で指名手配の犯人を追って大怪我を負い、ようやく警察学校の教官として復帰したばかり。慣れない役目で、周りとうまく噛み合っていない印象。彼女を支えようとしているのが助教官の塩見巡査部長。甘粕教官とのコミニケションを取ろうとするのだがなかなかうまくいかない。担当している０１教場の生徒たちも問題を引き起こしたり、空回りしたり…。警察学校の門の前に切断された人の左脚が入った甘粕教場名前入りの段ボール箱が置いてある事件も発生して…。

麻見和史『鴉の箱庭　警視庁捜査一課十一係』

１２月に講談社ノベルスから出た本。シリーズ１７冊目になる。このシリーズも確実に前進している気がする。今回は、新宿歌舞伎町のゴミ置き場から切り取られた右手が発見されたところから始まる。右手は特徴のある手提げバックの中に入っており、白い手袋をつけていた。捜査会議の後はまず現場での確認から。小さな手掛かりからでも捜査の方向性は大きく変化する。手の特徴からホストクラブ関係を調査することに。その後、別の人物の右手が見つかって…。元々このシリーズは地道な捜査がメインになっているので、今回も同じ展開。如月は窮地に陥るが、比較的地味な流れと言える。

知念実希人『放課後ミステリクラブ2　雪のミステリーサークル事件』

１０月にライツ社から出た本。「親子で楽しめる本格ミステリ」シリーズの二巻目。小学校中学年以上を対象にしている関係で、話の作りはわかりやすさを重視している。中学生以上なら一時間もあれば読めるか。絵や図が多いのは楽しくて良い。主人公はごく普通の小学四年生の柚木陸。そしてミステリクラブの仲間は元気いっぱいスポーツ万能の神山美鈴とイギリス帰りのミステリ好き少年・辻堂天馬。今回は雪の日曜日に担任の真理子先生から学校に呼ばれるところから始まる。日直当番だった真理子先生は校庭に描かれた雪のミステリーサークルを発見。三人組にこの謎を解き明かしてほしくて連絡をくれたのだ。大きな丸の中に網目模様が…。そして、このミステリーサークルを描いた人物の足跡はまったく見つからなかったのである。果たして宇宙人が空からやってきて描いたものなのだろうか…。「雪密室」っぽい仕掛けが本作品の一番のアピールポイント。シリーズ第三作は間もなく出るらしい。